



# スタートカリキュラムの編成

安来市教育委員会

## 編成の基本的な考え方

### ■一人一人の子どもの成長の姿から

幼児期の学びと育ちの様子や指導の在り方を生かした編成

### ■子どもの発達を踏まえた時間割や学習活動の工夫

体全体を使って学ぶという発達の特性を踏まえ、モジュールでの時間割構成や活動性のある学習活動を行う

### ■生活科を中心とした合科的・関連的な指導の充実

自分との関わりを通して総合的に学ぶ子どもの発達の特性を踏まえ、生活科を中心とした合科的・関連的な指導の充実を図る

### ■安心して自ら学びを広げる学習環境の整備

「子どもの実態を踏まえる」「人間関係が豊かになる」「学習のきっかけが生まれる」などの視点で学習環境を整備する

## 編成の手順

### ①幼児期の子どもを理解する（学びの芽生え）



### ②期待する成長の姿を共有する（自覚的な学び）



### ③スタートカリキュラムを編成する

- 成長の姿を週や月単位で明らかにする
- 成長の姿に適合した単元（合科・関連など）を構成し配列する
- 単元計画に基づいた学習活動を週の計画として時間配分する

## 学習類型の分類

<例>

- ①一人一人が安心感をもち、新しい人間関係を気付いていくことをねらいとした学習
- ②合科的・関連的な指導による生活科を中心とした学習
- ③教科等を中心とした学習

## 週案の作成

### ■週のねらいの設定

身近な友だちや先生との関わりから集団づくりへ、教室から学校全体へ、主体的に自分らしさを発揮できる活動へとステップアップ

### ■子どもの生活リズムに合わせた時間の設定

朝の会から1時間目にかけて幼児期に親しんだ遊びや活動を取り入れる、友だちと交流する活動を取り入れるなど、生き生きと楽しい気持ちで学校生活がスタートできる工夫

### ■学習活動の配列や時間配分の工夫

1日の流れを意識した額数活動の配列  
モジュール学習や2時間続きの学習など時間配分の工夫